

# 独上催眠

「私を好きにしていいるから、あの娘もめちゃうくちやにしようー!」

著:田中珠  
画:たちまよしかづ

# 独占催眠

「私を好きにしていればいいから、あの娘もめちやくちやにしていってー!」



著：田中珠

画：たちまよしかづ  
原作：WitchFlame

OB オトナ文庫



「あなたに三雲鈴香を犯してほしいの。  
報酬として私の身体を好きにしていっわ」



「こうしてお隣になったのも、きっと  
なにかの縁です。仲よくしましょう」

### 三雲鈴香

みくもすずか

清楚で明るい女子生徒。  
非の打ち所がない美少女だ  
がそれゆえに気後れさせて  
しまうのか、クラスメイト  
からは距離を置かれている。



身長 142cm

B90/W61/H89

誕生日 2月24日

男性経験なし



### 淵上冬音

ふちがみふゆね

学期半ばで編入してきた  
転校生。並外れた美貌を備  
えたクールな少女だが、常  
に刺々しい雰囲気をもっ  
て他人を遠ざけている。



身長 157cm

B76/W59/H77

誕生日 3月17日

男性経験なし

5 プロローグ

「こんばんは〜!! 神薙くん! ふふ、今日は来てくれてありがとうございます♪」  
「ああ、うん。お招きに預かり参上したよ。あいにく土産はないけどね」  
「ううん、いいんです! ここに来てくれただけで、私もう……ああ、はああん!!」  
目の前でクラスメイトの三雲鈴香が、あられもない恰好を披露してくれている。  
そのあられもなき具合は、特級品だ。  
制服の上着とブラをめぐり上げ、ブリッジするような姿勢でパンツに包まれた股間を  
俺のほうへと突き出し、指先で布地をいやらしく擦っている。  
そのたびに豊満すぎるおっぱいがブルルンと揺れて、実に目の毒だ。  
ありとあらゆるエロメディアを網羅し、エロの求道者たらんとする俺ではあるが、こ  
こまでエロい光景は見たことがない。  
「ほらほらあ、見えますか? パンツぐつしより……暗いから見えないかもしれませんがね」  
「いや、見えるよ。うっすら透けてる……割れ目の形まではっきり見えるよ」

プロローグ



目次

●プロローグ	5
●第一章 能力開示	15
●第二章 独占開始	52
●第三章 催眠破瓜	100
●第四章 催淫授業	141
●第五章 能力対決	165
●第六章 永久催眠	207
●エピローグ	244

神薙皇也  
かんなぎこうや

学園の三年生。「女たちを犯し支配してやりたい」という妄執を心に秘めながらも、平凡な男子生徒を装って学園生活を送っている。